

# 産業集積のためのエコシステムをどう育てるか

2016年3月24日  
NPO法人ETIC. 理事 山内幸治

# 産業集積のためのエコシステムをどう育てるのか (本日お伝えしたいこと)

- ① 人の流れをつくる（ブレイン流出から流入へ）
- ② ハブとなる多様な人材や組織の存在
- ③ 民間の力を活かす行政の役割
  - 重点領域の提示、資源管理への条例、規制緩和
  - 行政がマネジメント・コントロールするのではない

# 未来の仕事を「つくる人」をつくる

## 起業家型リーダー育成事業 (対象：大学生～30代社会人)



1・2年生大歓迎、1ヶ月限定・地域での短期インターンシップ



## 右腕派遣プログラム



## 社会起業家創業支援事業 (対象：起業家)



西武ソーシャルビジネス成長応援融資

**CHANGE**

〈チェンジ〉

NPOやソーシャルビジネスなど、  
社会や地域の課題解決にチャレンジする組織を  
「資金面」と「経営面」で応援！

成長応援融資  
(最大500万円)

〈固定金利0.1%〉  
〈原則無担保〉



成長応援  
プログラム

〈経営者や専門家との個別相談〉  
〈若手人材マッチング支援〉  
〈活動資金助成〉など

### 巻き込み数

- ・若者3,000名
- ・受入団体950社

### その他成果

- ・OB起業家150以上
- ・連携大学20以上

### 主な成果

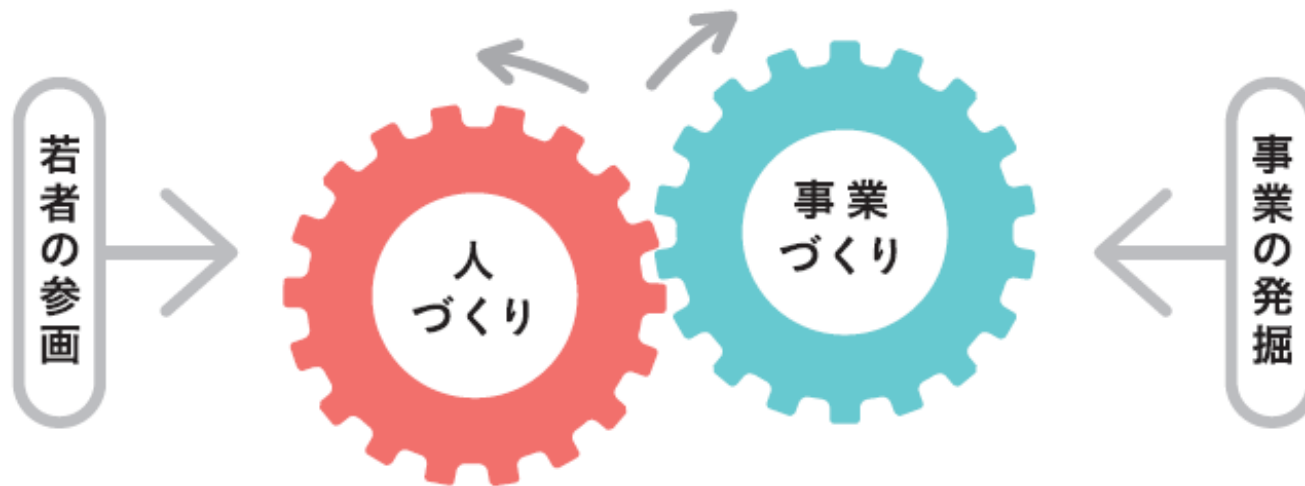
- ・プログラム輩出起業家 400人以上
- ・事業継続率 90%

# ETIC.のアプローチ

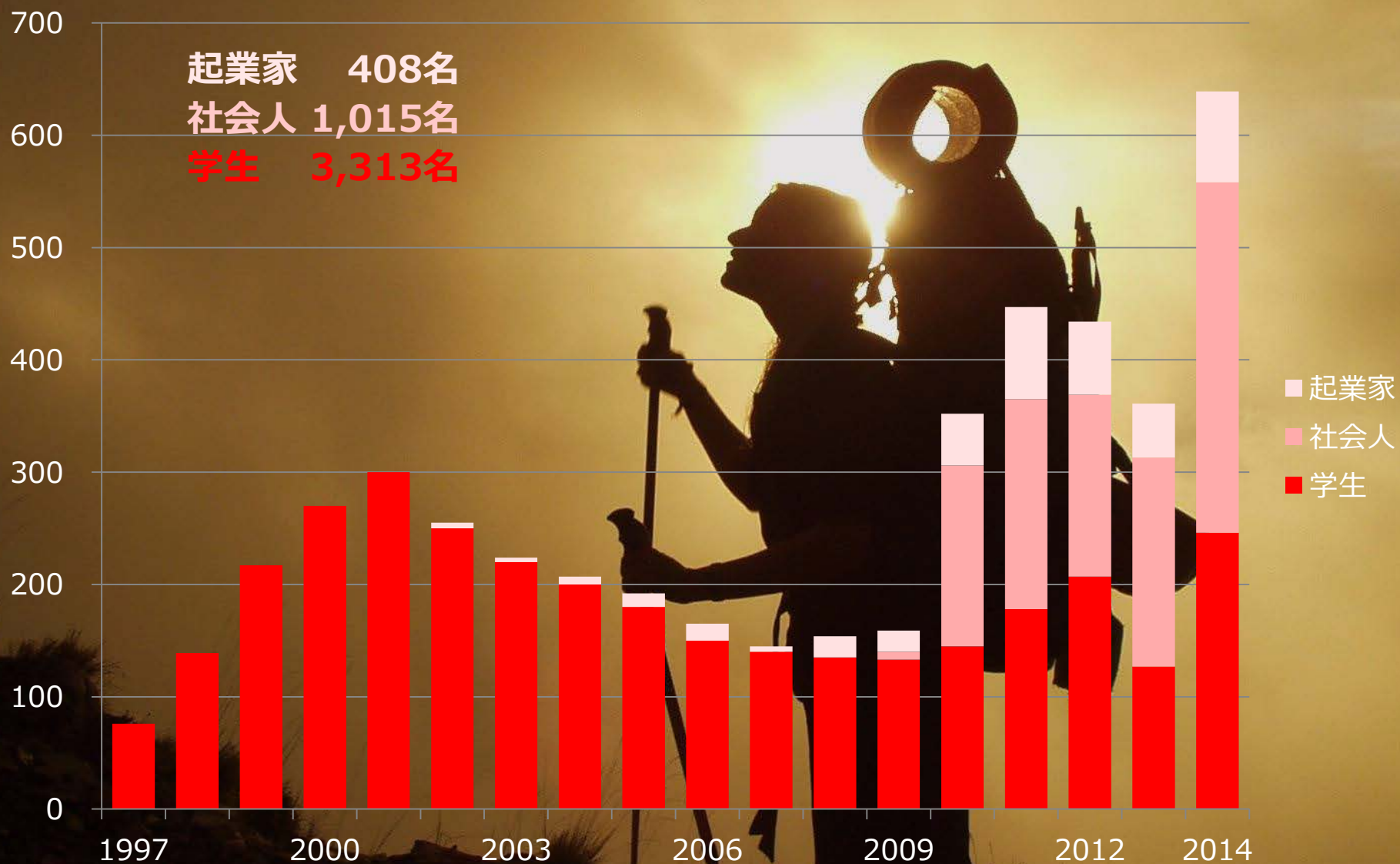
人をつくる、社会をつくる、日本をつくる。

—「つくる」人が増え続ける循環へ—

課題の裏には機会がある。誰かが感じた不満や憤りの中には、未来の社会を描くヒントがある。誰も気づいていなかったところに、当たり前だと思っていたところに、未来の希望が眠っている。いまの社会に足りないもの。それは「つくる」人の存在。可能性に光をあて、新たな価値をつくりだしていく人たち。社会をつくる現場でこそ、「つくる」人が育っていく。そして人材が参画することで、社会をつくる事業が育っていく。この両輪を回し続けることで、「つくる」人が増え続ける循環、自律的で創造的なコミュニティを育てていきます。



これまで4,700名の若者たちが、変革・創造の現場に参画。



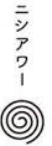


# 社会をつくる、人づくりをしてきた20年

キツカケラまれる、ナナメの関係  
KATARIBA



「新しいとて」を君等に  
NEWVERY



# ETIC.のメンターネットワーク（一部ご紹介）

- これまでに400名以上の起業家支援を行ってきた、ETIC.のメンターネットワークです。



南場 智子氏  
株式会社ディー・エヌ・エー  
取締役会長 ファウンダー



孫 泰蔵氏  
Mistletoe株式会社  
代表取締役社長



森川 亮氏  
C Channel株式会社  
代表取締役社長



出雲 充氏  
株式会社ユーグレナ  
代表取締役社長



佐々木大輔  
free株式会社 代表取締役

プロフィール



小沼大地  
NPO法人クロスフィールズ 代表理事

プロフィール



加藤智久  
株式会社レアジョブ 代表取締役社長

プロフィール



小笠原 治氏  
株式会社ABBALab  
代表取締役社長



丸 幸弘氏  
株式会社リパネス  
代表取締役CEO



松本 大氏  
マネックスグループ株式会社  
代表取締役社長



新井 和宏氏  
鎌倉投資株式会社  
取締役



山田敏夫  
ライフスタイルアクセント株式会社  
(ファクトリエ) 代表取締役社長

プロフィール



米良はるか  
READYFOR株式会社 代表取締役

プロフィール



太田英基  
株式会社スクールウィズ 代表取締役

プロフィール



小城 武彦氏  
株式会社日本人材機構  
代表取締役社長



牧 大介氏  
株式会社 西栗倉・森の学校  
代表取締役 (校長)



高橋 大就氏  
一般社団法人「車の食の会」  
事務局代表



中村 俊裕氏  
米国NPO法人コベルニク  
共同創設者 兼 CEO



江口晋太郎  
編集者、ジャーナリスト  
NPO法人スタンバイ理事



古俣大介  
ピクスタ株式会社 代表取締役



白木夏子  
HASUNA Co.,Ltd.  
代表取締役兼チーフデザイナー



# 全校生徒、革命児。 次世代イノバーターが集う「私塾」(2015～)

## 最先端のテクノロジー TECHNOLOGY

[HOME](#) / [プログラムテーマ一覧](#) / 最先端のテクノロジー

### 社会の進化に繋がる「未来志向のテクノロジー」を創造する

人や社会の「進化」のためにテクノロジーが果たす役割は無限にあります。社会や人類が直面する課題を解決するため、誰もみたことのない素晴らしい未来を実現するために、人を中心にしたテクノロジーの可能性を探求し、創造します。

Keywords: ロボット／人口知能／次世代モビリティ／AR／IoT・ハードウェア／アグリ／バイオ／エネルギー／宇宙／オープンイノベーション

Copyright(C) 2016 NPO法人ETIC. All rights reserved



# Mentor

メンター



孫泰蔵氏  
Mistletoe株式会社  
代表取締役

東アジアにシリコンバレーを超える  
スタートアップ・エコシステムをつくる。



出雲充氏  
株式会社ユーグレナ  
代表取締役社長

大学発バイオベンチャーの雄。  
ミドリムシが本気で世界を救う。



丸幸弘氏  
株式会社リバネス  
代表取締役CEO

最先端科学技術と世の中を繋げ、  
世界を変えるビジネスを創造する。



小笠原治氏  
株式会社ABBALab  
代表取締役社長

ハードウェア・スタートアップの聖地、  
DMM.make AKIBAの仕掛け人。



## パートナー

この領域で最先端のイノベーションに挑む気鋭のスタートアップ。6か月間の期間限定で「インターン」や「プロジェクトリーダー」としてパートナーが挑むプロジェクトに参画します。ここでは「インターン」や「プロジェクトリーダー」として参画できる可能性のあるプロジェクトを紹介していますが、実際は、メンバーのビジョンに基づき、この領域で幅広いネットワークを持つメンターが最適なスタートアップを提案してくれます。



**水口佳紀**

株式会社メタジェン  
取締役 COO

腸内環境コントロールによる新たな健康維持・疾患予防基盤技術創出プロジェクト



**清水敦史**

株式会社チャレナジー  
代表取締役CEO

世界初・台風による風力発電（垂直式マグナス発電）の開発・普及、自然エネルギー革命プロジェクト



**仲木竜**

株式会社Rhelixa（レリクサ）  
代表取締役CEO

エピゲノム解析によりデザインする、5年、10年先の未来に向けた新たな健康管理



**高橋祥子**

株式会社ジーンクエスト  
代表取締役

遺伝子解析による予防医療促進プロジェクト

## 参加メンバー例

- ・東京理科大学 理工学部4年
- ・ソフトバンクロボティクスで長期インターン
- ・「Pepper」の開発者コミュニティの運営
- ・大学では研究としてAstroscale社とともにデブリ観測衛星の開発に参加
- ・北海道大学 工学部4年
- ・大学では高齢者の排便状況を管理するandroidアプリを開発
- ・ヘルスケア分野でのIoT関連事業での創業を志望
- ・医療用ドッグタグで身元不明の救急搬送対象を瞬時に特定・家族連絡するサービスを検討中

# 東北での取り組み



# 年間派遣 拳げ、地元木材 タート 人材たちが参画



# 各地で活躍する右腕たち

右腕参画先地域

38市町村

右腕参画団体数

114団体

参画右腕数

214名

※2015年7月時点

## 事業推進を担う右腕たち

震災1年目は、仮設住宅支援などコミュニティマネジメント系の役割が多く見られた。震災2年目以降は事業開発・促進や人材統括、マーケティングなど、より事業性の高い役割を担うケースが多く、事業推進役となっている。

### 右腕の主たる役割

事業開発・促進	33%
コミュニティマネジメント	16%
基盤統括	15%
マーケティング・販路促進	12%
商品/サービス開発	7%
ボランティアマネジメント	5%
広報・ファンレイジング	5%
リサーチ・情報分析	5%

※2014年1月1日時点



**高橋 康三郎さん**  
▶ 東北で働く(継続雇用)

【団体名】 奥谷川建設  
【活動地】 岩手県奥谷川町  
店舗の内外装に関する設計・施工業務に従事。震災を機に宮城の6次産業、特に林業再生を通じた地域活性化への関心が深まり、東北で木質バイオマス・エネルギー事業の立ち上げに携わる。



**村井 清月さん**  
▶ 東京から応援

【団体名】 南三陸復興ダコの会  
【活動地】 宮城県南三陸町  
復興支援品を通じた雇用創出プロジェクトで商品開発、販路促進、生産管理に従事。現在は民間企業で、事業を進めて南三陸町に関与し続ける。2014年より南三陸町復興応援大使。



**小堀 勝吉さん**  
▶ 東北で起業(右腕→リーダー)

【団体名】 MAKOTO  
【活動地】 宮城県仙台市  
右腕として仙台の中間支援団体で起業家支援、コワーキングの立ち上げに携わり、被災地に携わる中で見つけたニーズから、A型障害者就労による高齢者、病気のケアへの在宅事業を開始。



**山崎 直貴さん**  
▶ 東北で働く(右腕→事務局員)

【団体名】 みくしま津波復興センター  
【活動地】 福島県福島市  
外資系コンサルやNPO勤務→起業経験を活かし、社会福祉で復興支援中間支援団体の事務局員として復興に貢献する企業と復興の現場で活躍する団体の連携・協力を推進する仕組み作りに従事。



**加藤 裕介さん**  
▶ 東北で働く(継続雇用)

【団体名】 Bridge for Fukushima  
【活動地】 福島県福島市  
外資系コンサルでの勤務を経て右腕に参画。福島市、相馬市、南相馬市で活動する社会企業家のハズオン支援、ヒューマンツーリズム、右腕による実践型課題解決プログラムを企画・実施。



**小沼 利幸さん**  
▶ 東京から応援(継続雇用)

【団体名】 東の食の会  
【活動地】 東京  
経済・企業調査、雑誌編集、地域産品の第6次産業化支援の仕事を経験。生産者と企業マッチングのための懇話会、2万人以上が参加した東京・ハーベストのほかに、事務局体制強化にも尽力。



**橋本 かな子さん**  
▶ 福岡

【団体名】 三陸ひとなび自然学校  
【活動地】 岩手県釜石市  
旅行会社を休職参加。農業・漁業・自然体験と組合せたボランティアツアーリズムや子どもの居場所、学び場づくり等プログラム開発の他、団体の事業強化、ボランティアマネジメントを行う。



**江川 信吾さん**  
▶ 東北で働く

【団体名】 さんさんの会  
【活動地】 岩手県大船渡市  
製菓会社での営業およびマネージャー経験を活かし、生活習慣病予防や買い物に行けない方向けに、食生活改善指導した期間食の提供やマーケティング、情報提供の仕組みの立上げ実施を行う。



**下津浦 朱里さん**  
▶ 東北で働く

【団体名】 いわてNPO-NETサポート  
【活動地】 岩手県大船渡市  
外資系アパレル企業での店舗管理および新店舗立上げやスタッフ教育等の経験を活かし、地域内の企業、個人からの寄付を復興につなげるファンドを通じた地域の事業育成支援を行う。



**三宅 伸吾さん**  
▶ 福岡

【団体名】 きたかみ復興支援協議会  
【活動地】 岩手県大船渡市  
国際公務員を休職参加。経営コンサルや民間非営利組織(NPO)での専門性を活かし、仮設住宅に住む方々のサポートをするコミュニティ支援員の仕組みづくり、連携、トレーニングを行う。



**橋本 大吾さん**  
▶ 東北で起業(右腕→リーダー)

【団体名】 東日本大震災リハビリネットワークーface to faceー  
【活動地】 宮城県石巻市  
震災後、リハビリ専門職の支援団体を設立。右腕としてそのコーディネーターに就任。終了後、介護福祉からの卒業を目指しサービス、フィットネス、地域健康サポーター事業を行う。



**松下 嘉広さん**  
▶ 福岡右腕

【団体名】 ISHINOMAKI2.0  
【活動地】 宮城県石巻市  
住宅や店舗の設計の専門性を活かし、岩手、乃が一、他地域で災害が起きた被災地を支援する人材になりたいと夢を、石巻市で地域自治の仕組み作りを、地域住民のサポート役として推進中。



**落合 孝行さん**  
▶ 福岡右腕

【団体名】 リンからす  
【活動地】 宮城県石巻市  
介護福祉からの卒業を目指したサービス、その受け皿としてのフィットネスと地域で病気を療がい予防を行う団体で、地域健康サポーターの育成、地域交流事業の企画・実施を行う。



**中川 雅美さん**  
▶ 東北で働く(継続雇用)

【団体名】 津江町復興  
【活動地】 福島県津江町  
大手企業・大学での広報経験を活かし、「情報力」で自治体と全国に分散配置する町民を繋ぎ不安の払拭、信頼関係の構築につなげるほか、市内の組織広域の仕組みづくりや研修を行う。



**鈴木 英嗣さん**  
▶ 福岡を退社して独立

【団体名】 東北復興  
【活動地】 東京  
出版社での情報誌の編集経験をいかし、日本各地へ行く機会「東北へ食へる道」の編集・制作の制作や、WEBサイト・会員コミュニティの運営、会員獲得プロモーションなどに取り組む。

# 右腕の活動：浪江町役場

菅野孝明さん	ふるさと再生課にて津波で自宅を失くされた約600世帯の方を対象とした、防災集団移転（高台移転）の計画づくり、合意形成を担当。その後、津波浸水地域にどのような施設やインフラを整備するのか土地利用を検討。現在は復興推進専門員として、部署横断的な連携も促進。
陣内一樹さん	NECから経団連/復興庁へ出向し、復興推進課にて100名以上の住民とともに昨年秋に策定された復興計画の400の施策の進行管理を行う。その後、Code for Japanと連携し、タブレットを活用したきずな再生・強化事業を立案、実施。復職した現在も週1ペースで役場業務に関わる
中川雅美さん	東京にて制作会社、保険会社、大学などで、編集、広報、ブランディングに携わっていた経験を基に、浪江町役場広報コーディネーターとして「情報の力」で自治体と全国に分散避難する町民をつなぎ、不安を軽減するとともに、町の存続に向けて全国への発信を意識した広報活動と、それを可能にする職員のマインドづくり・庁内の仕組みづくりに取り組む。
岩尾恒雄さん	浪江町の基幹産業である農林水産業の再開に向け、除染後のうちの保全管理のための農事復興組合の設立支援、稲や野菜の試験栽培による土壌および農産物のモニタリングを行う。除染作業の進捗にもよるが、3年間で20組合設立を目標に、20地区のうち、7組合が設立（2015年10月末現在）。





# 帰宅準備区域での雇用づくり 小高ワーカーズベース（福島県南相馬市小高区）



**食堂、スーパー、女性の雇用の場（ガラス細工）などを展開**



# ITを活用した帰還支援のためのアイデアを競う 「南相馬小高ハッカソン」

2016年3月5-6日の2日間実施したハッカソンには、会津大学、宮城県（イトナブ等）、地元のエンジニアや市役所職員を含む、40名が参加。「半年後、小高に住むとしたら何が困るだろう？」というテーマから、20個のアイデアの種が生まれた。

アイデアの種（一部）：

- シェア馬（野馬追の馬の有効活用）
- アプリで注文できる移動販売（移動困難となった高齢者向け）
- 災害ドローン
- オープンガーデン（自由に花を植えていい空き地情報）
- 土地・場所・時間 貸出アプリ
- 用水路お掃除ロボット
- ゲーム感覚でのまちの情報集め（マッピングパーティ）
- 小高版Uber（乗り合い）
- 防犯ジョギングツール
- 市内シェア移動ツール（セグウェイ等）



震災後、南相馬へ移住した森山貴士さん  
課題解決型ITエンジニアの育成を目指す他、  
『小高の小数力』というフリーペーパーも作成

# 新健康長寿産業。健康を稼ぐ産業に。 NPOほうらい（福島県福島市）

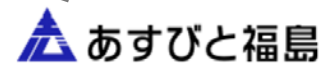


# ハイスクール・ピッチ



*High  
School  
Pitch*

ハイスクールピッチ



TATAKIAGE Japan

ETIC.の日米リーダー交流プログラムに参加したことをきっかけに、Bridge for Fukushimaが中心となって高校生の実践をサポート。

地域の学校、企業、関係団体等を巻き込み、地域を挙げて地域課題解決や事業創出を盛り上げていく。



東日本大震災から5年。復興に奔走する被災地のリーダーの「右腕」として東北に飛び込んだ若者から起業する人が次々と現れてきた。社会起業家支援のNPO法人エティック(東京・渋谷)の人材派遣プログラムで東北に入り、震災で得意になった地域の課題に直面、関わるうちに起業にたどり着く。復興現場で経験した人材が地域の支え手に育ちつつある。

2月下旬、まだ肌寒い宮城県七ヶ浜町、津波で海岸沿いの建物の大半が流された海水浴場そばでログハウスづくりが進む。「この場所を再生のシンボルにしたい」。観光地復活を目指す合同会社fluir(フールイール、同町)代表の久保田靖嗣さん(33)は話す。5月の連休時にアートカフェを始める計画だ。

元バンドマンで千葉県出身の久保田さんは青年海外協力隊員としてアフリカ滞在中に震災が起きた。「社会が変わる瞬間だ」。帰国後すぐエティックの右腕プログラムに参画。当初は活動を終えたら再びアフリカに行く予定だったが、中途

復興リーダーを支える「右腕」を経験して起業したのは20人を超す

<p>りぶらす(石巻)</p>  <p>橋本大吾さん</p>	 <p>岩手 宮城 福島 東京</p>	<p>パノナ東北創生(釜石)</p>  <p>戸塚絵梨子さん</p>
<p>愛さん宅食(塩釜)</p>  <p>小尾勝吉さん</p>		<p>さんK WELLNESS(大船渡)</p>  <p>熊谷侑希さん</p>
<p>fluir(七ヶ浜)</p>  <p>久保田靖嗣さん</p>	<p>旅とロック</p>  <p>鈴木英嗣さん</p>	<p>プレイバージョン(郡山)</p>  <p>菅家元志さん</p>

## 復興の「右腕」 起業家に育つ

半端にはできないと1週間、茨城県出身の橋本大吾さん(35)は仮設で暮らす高齢者にどう関わろうと決めた。神奈川県出身で食事の宅配を手掛ける愛さん宅食(塩釜・宮城県塩釜市)社長の小尾勝吉さん(37)も、きっかけは支援団体の右腕配手掛ける愛さん宅食(宮城県塩釜市)社長の小尾勝吉さん(37)も、きっかけは支援団体の右腕配手掛ける愛さん宅食(宮城県塩釜市)社長の小尾勝吉さん(37)も、

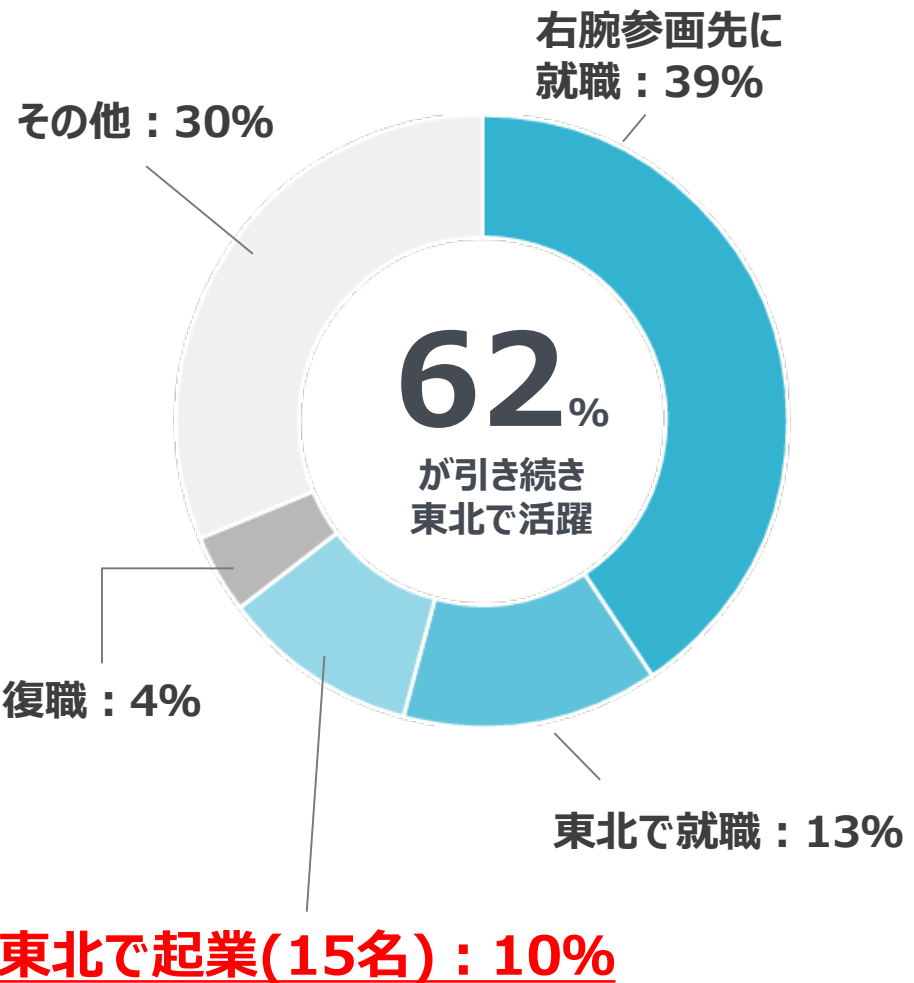
### 食事宅配・リハビリや運動支援

半端にはできないと1週間、茨城県出身の橋本大吾さん(35)は仮設で暮らす高齢者にどう関わろうと決めた。神奈川県出身で食事の宅配を手掛ける愛さん宅食(塩釜・宮城県塩釜市)社長の小尾勝吉さん(37)も、きっかけは支援団体の右腕配手掛ける愛さん宅食(宮城県塩釜市)社長の小尾勝吉さん(37)も、

## 被災地の課題知り着想

エティックが2011年5月に始めた。復興に貢献したい人材を募り、ニーズに合う被災地団体に送り込む。期間は3ヵ月から1年程度。研修や活動費の支援もある。派遣費用は企業や有志からの寄付でまかなう。これまで230人程度を派遣し、起業家が20人を超す。期間後も東北で活動続けるメンバーが6割に上る。

追 想 録

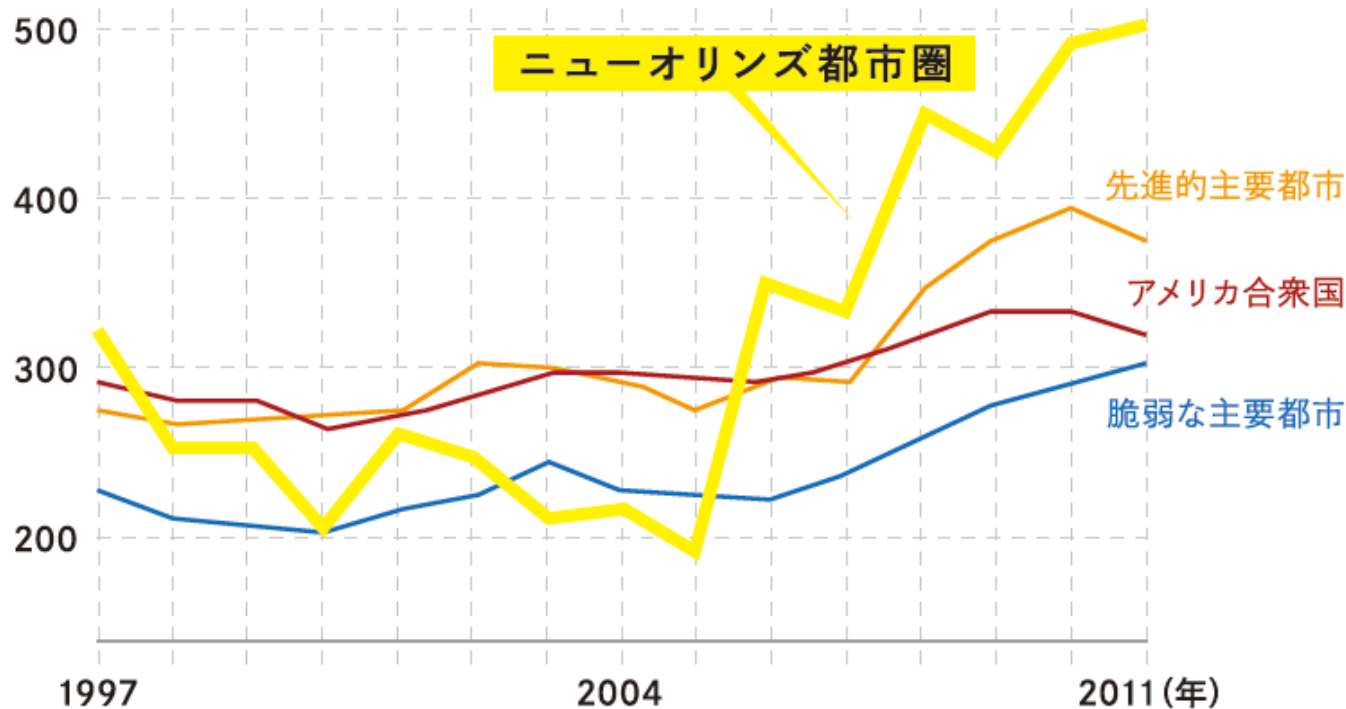




# ニューオリンズの事例紹介

# カトリナ被災後、全米でも有数の「起業のまち」となったニューオーリンズ

起業した個人 成人人口10万人対(3カ年移動平均)



注：57の脆弱な主要都市の内、8主要都市に関してはデータなし

出典：The New Orleans Index at Eight

# ニューオリンズの復興の時間軸

災害前  
～05年

## ●災害前からの課題

- ・高い貧困率(68%)
- ・高い犯罪率
- ・教育・医療の問題
- ・人口減に伴う経済縮小  
(過去5年で23,000減)
- ・政府の腐敗
- ・人種の対立

フェーズ1  
05年8月～06年8月

## ●緊急支援

- ・災害救援
- ・衣食住の確保

フェーズ2  
06年9月～10年8月

## ●混沌と創造

- ・ビジネスの再建
- ・政策への影響
- ・社会起業家への支援  
(中間支援への支援)

3年目、不安・うつ病増加  
「Visionが沢山あり過ぎた」

フェーズ3  
10年9月～

## ●地域の長期的投資へ

- ・大規模な公共工事完了
- ・人々の考え方の変化
- ・長期的視点からの投資
- ・**データに基づくVision**
- ・マルチステークホルダーMTG

00～



01～



93～



97～



05/9月～



06～



08～



11～(08からボランティアとして活動)



07～ MAKE IT RIGHT

**災害から5年後**  
**「リカバリー、リビルディングからルネッサンスへ」**  
**新しいメッセージを発信**



# 力を入れた4つの施策

## コミュニティ（シビック） エンゲージメント

対話の機会の増加と  
政策への積極的反映

(Committee For A Better New Orleans)

## 戦略的経済開発

エネルギー産業依存からの転換  
ダイバーシティ重視、どの分野が今後  
雇用を伸ばしうるか分析

(テクノロジー、メディア、ライフサイエンス、ヘルスケア等)

## 教育への投資

自治強化 = チャータースクール増加  
(1つから50以上へ)  
平均以上の教育水準に  
UIターン組への重要なアピール

## 新しいアイデアへの投資

イノベーター、スタートアップ等  
新しい挑戦、アイデアへの積極投資

2011年にデータ集約チームを発足させ、外部コンサルも入れて2年間かけてProsperity NOLAとして、以下の5つの優先分野を選定。

(※13の分野から5つに絞った)

- 1) Advanced Manufacturing
- 2) BioInnovation & Health Services
- 3) Creative Digital Media
- 4) Sustainable Industries
- 5) Transportation, Trade & Logistics

New Orleans **BioInnovation** Center

将来の産業人材を育成すべく、  
16-7歳の若者向けのプログラムとして  
バイオテクノロジーに関する  
90日間のサマーインターンを実施

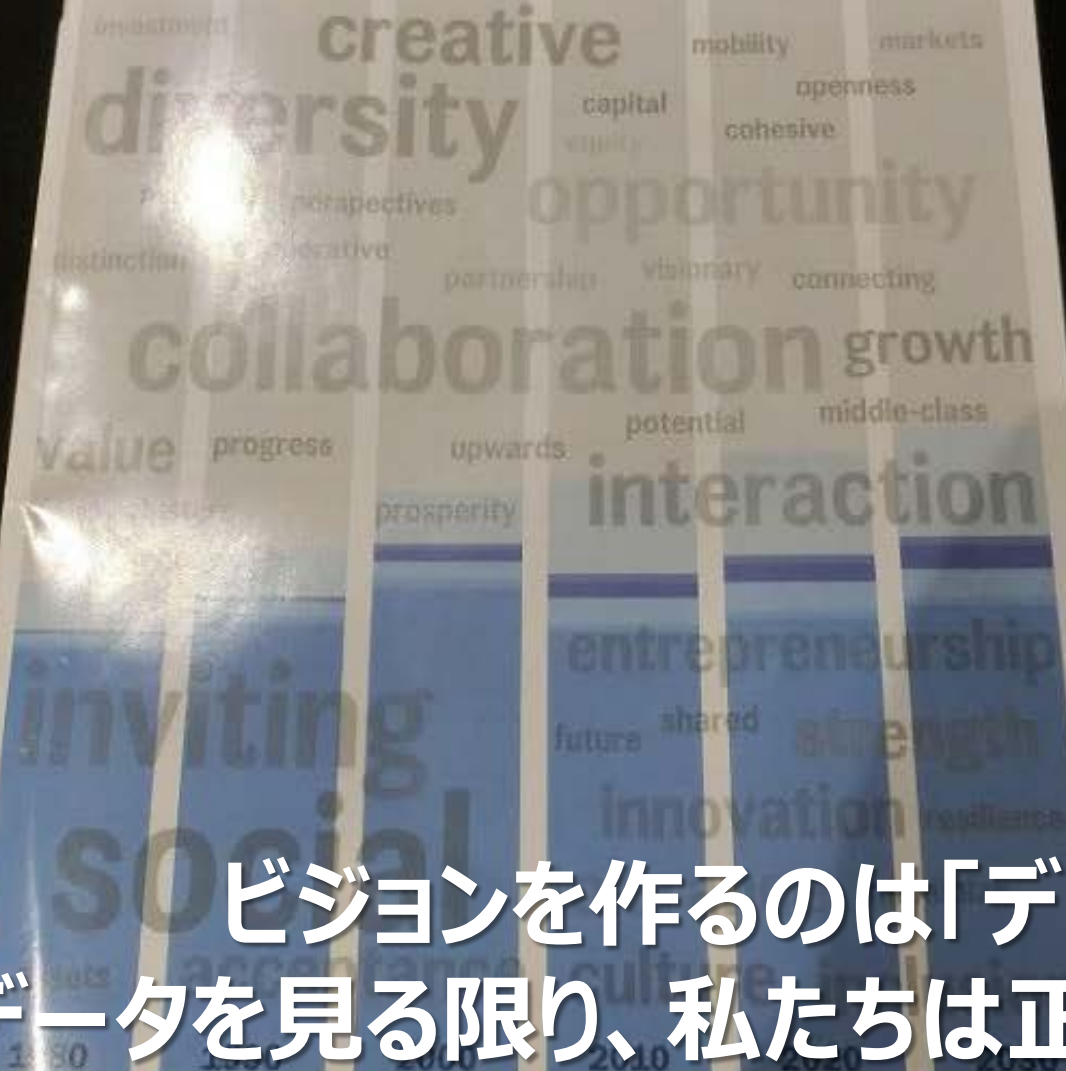
**データに基づき  
マルチステークホルダーで  
ビジョンを創る  
(対話を支える仕組み)**



# The New Orleans Index at Eight

August 2013

MEASURING GREATER NEW ORLEANS' PROGRESS TOWARD PROSPERITY

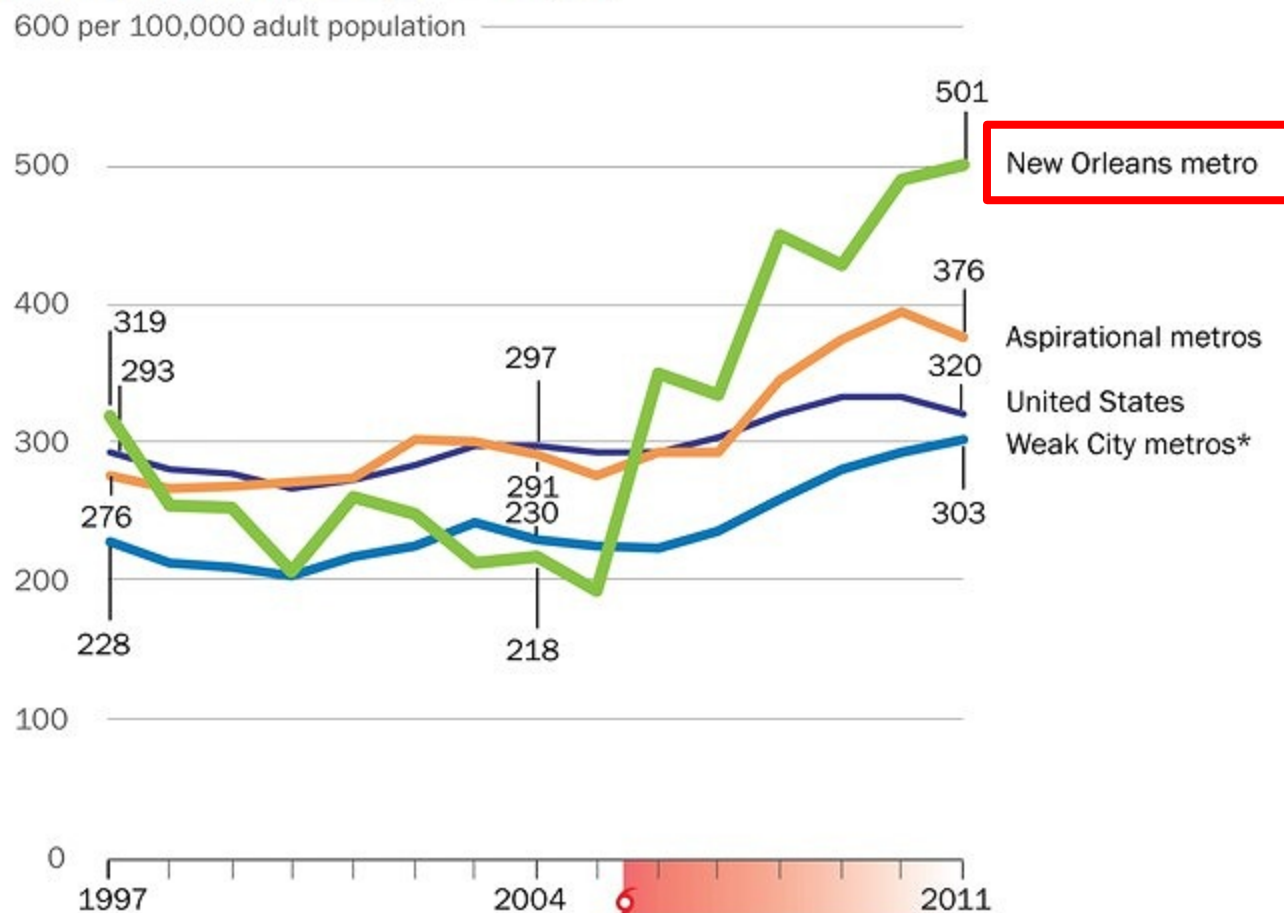


ビジョンを作るのは「データ」である。  
このデータを見る限り、私たちは正直になれる。

# Entrepreneurship continues to expand – reaching 56 percent higher than the nation and 33 percent higher than aspirational metros.

## Individuals starting up businesses

Per 100,000 adult population (three-year averages)

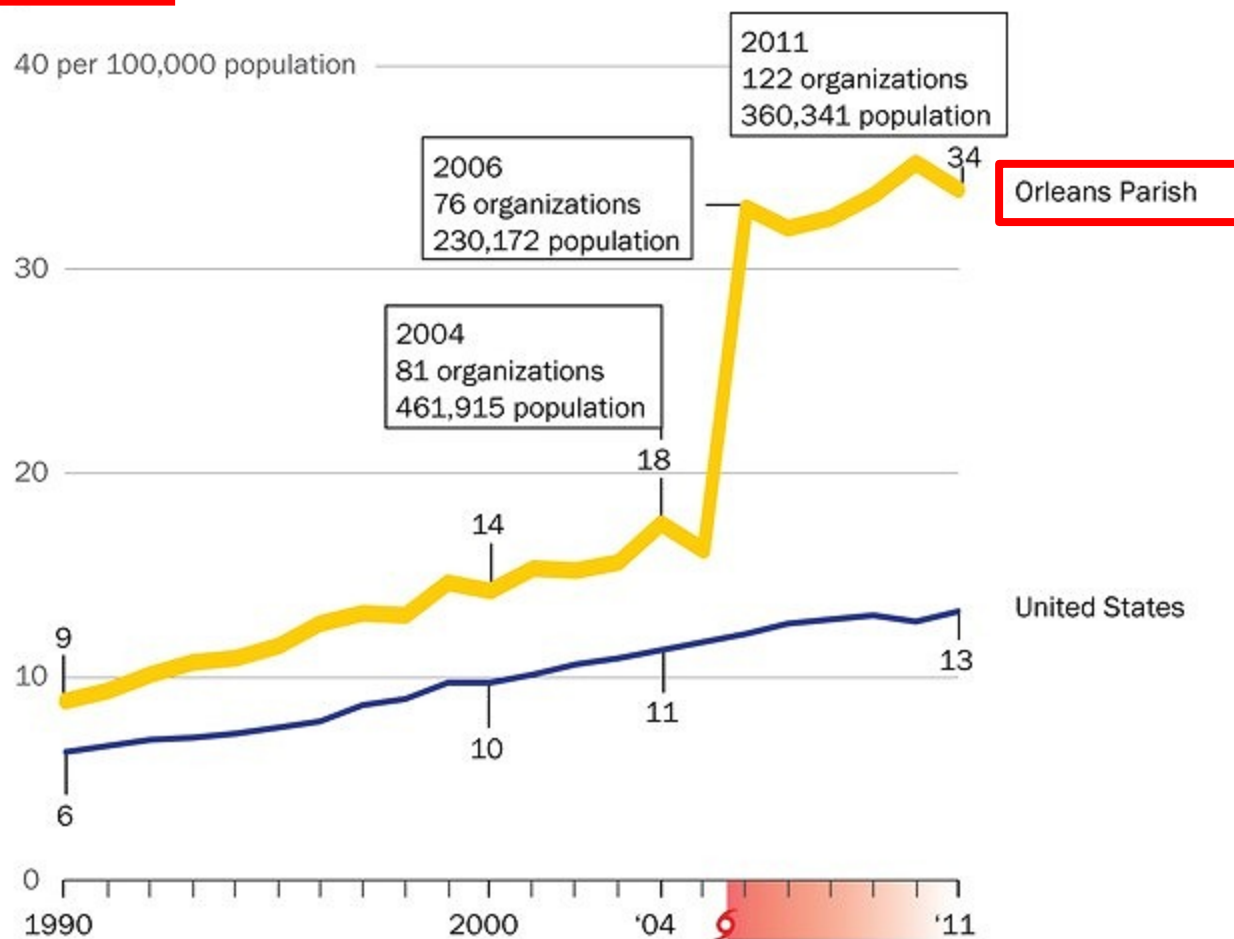


Source: Kauffman Index of Entrepreneurial Activity.

Note: Data is not available for eight of the 57 "weak city" metros.

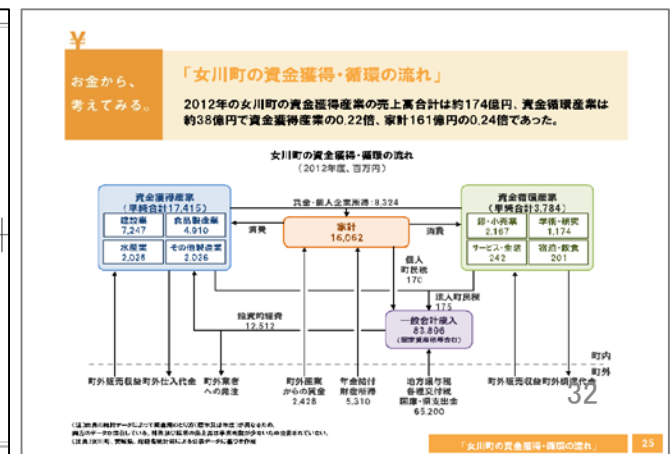
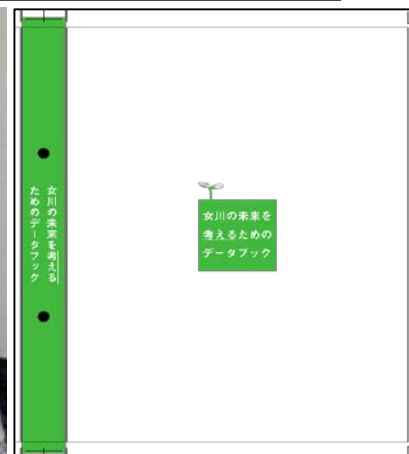
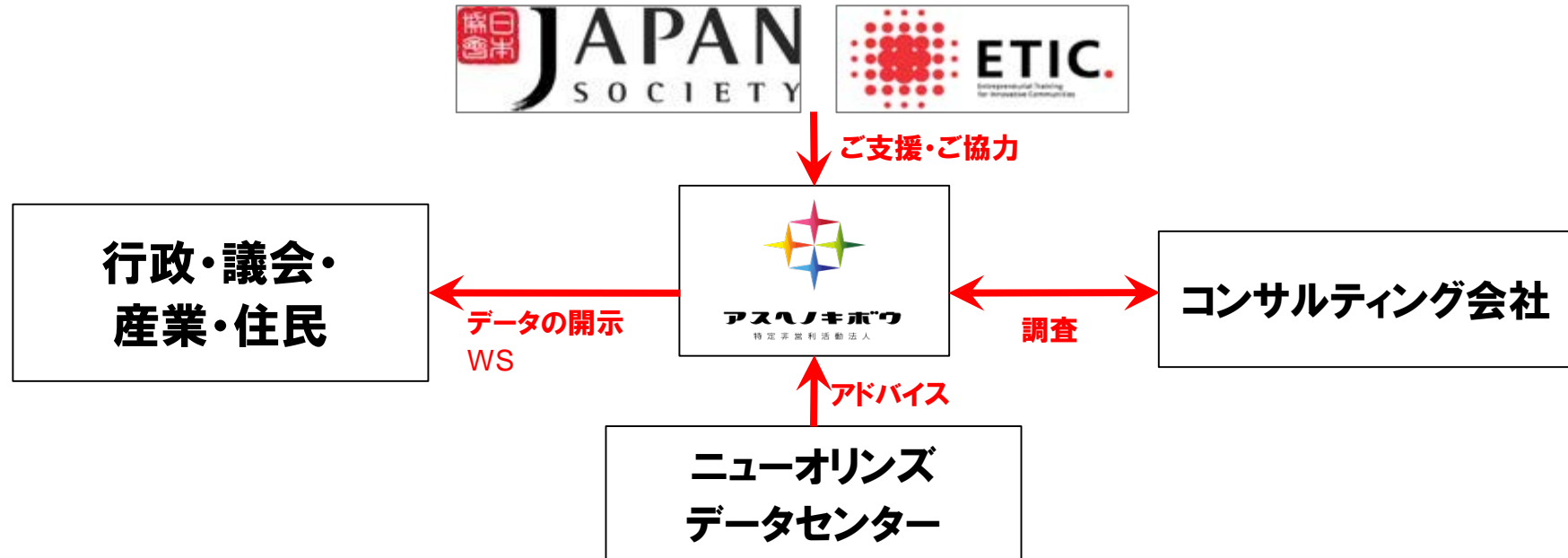
The number of arts and culture nonprofits has grown to 34 organizations per 100,000 residents — more than double the national rate of 13 per 100,000.

Registered arts and culture nonprofit organizations  
per 100,000 population



# 参考：女川町でのデータブックプロジェクトの展開

※NPO法人アスヘノキボウ資料より





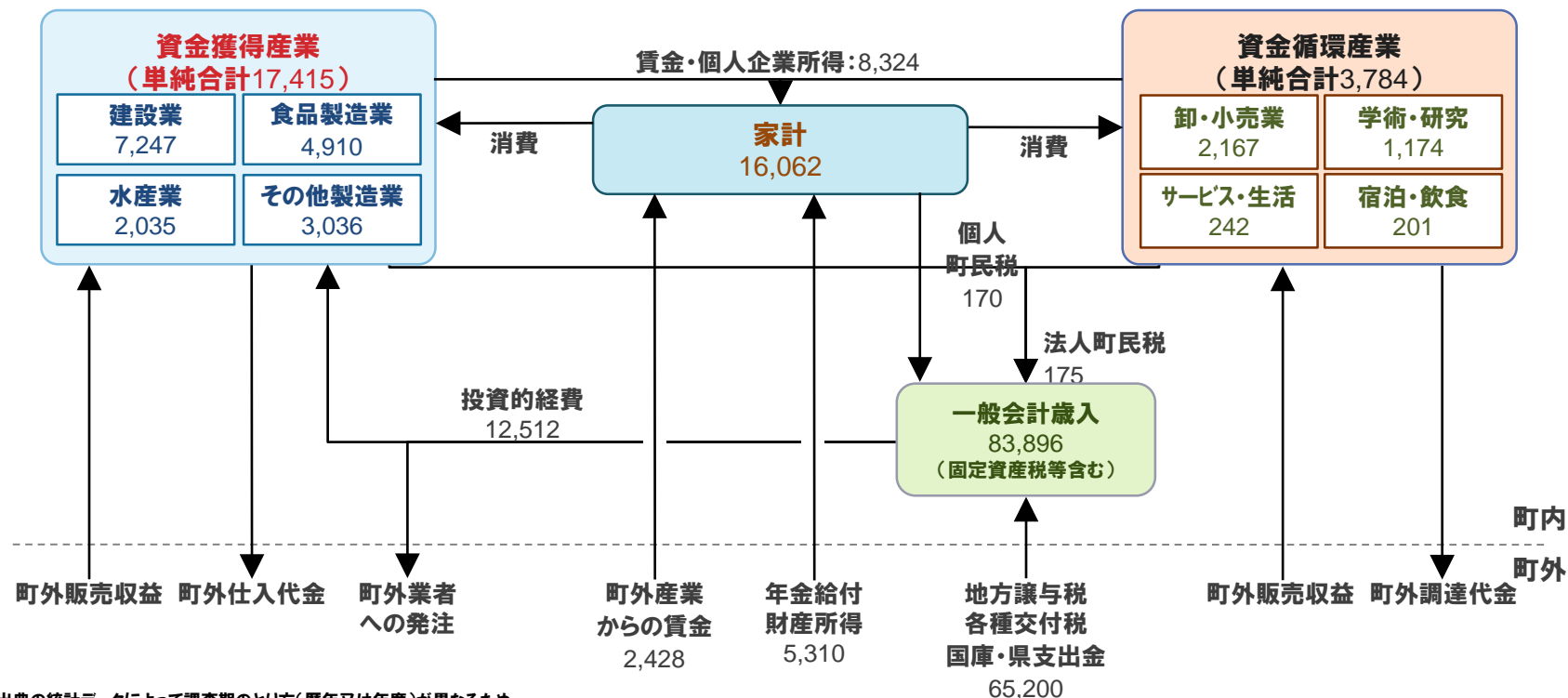


お金から、  
考えてみる。

## 「女川町の資金獲得・循環の流れ」

2012年の女川町の資金獲得産業の売上高合計は約174億円、資金循環産業は約38億円で資金獲得産業の0.22倍、家計161億円の0.24倍であった。

女川町の資金獲得・循環の流れ  
(2012年度、百万円)



(注)出典の統計データによって調査期のとり方(暦年又は年度)が異なるため、両方のデータが混在している。林業及び鉱業の売上高は事業所数が少ないため公表されていない。  
(出典)女川町、宮城県、総務省統計局による公表データに基づき作成



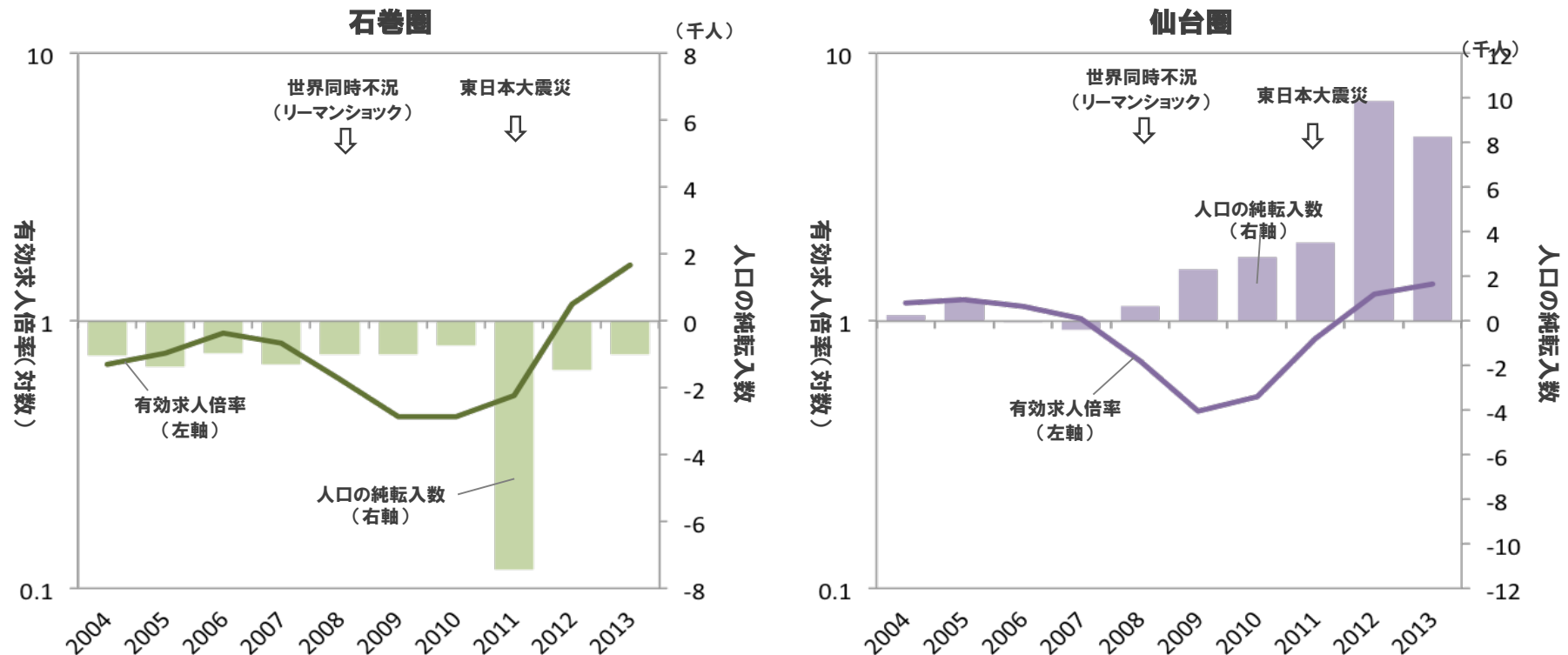


人から、  
考えてみる。

## 「人口流出に対する雇用の影響」

石巻圏と仙台圏の人口の転入出は有効求人倍率には大きな影響を受けておらず、石巻圏の人口流出には雇用以外の要因があると思われる。


有効求人倍率と人口の社会増減数の推移



(注)有効求人倍率は職業安定所別の各月の平均値。人口の社会増減数における石巻圏とは、石巻市・東松島市・牡鹿郡(女川町)の2市1町の範囲をい、仙台圏とは、仙台市・塩竈市・名取市・多賀城市・岩沼市・亶理郡(亶理町・山元町)・宮城郡(松島町・七ヶ浜町・利府町)・黒川郡(大和町・大郷町・富谷町・大衡村)の5市8町1村の範囲をいう。

(出典)住民基本台帳人口及び世帯数(年報)(宮城県統計課)、宮城県の一般職業紹介状況(宮城労働局)

# ソーシャルアントレプレナーシップの ムーブメント 「ブレイン流出から流入への転換」



**Andrea Chen アンドレア・チェン**  
**プロペラ代表（33歳）**

**元高校の英語教師。**  
**08年からボランティアをはじめ、11年から本格始動。**



不動産開発業者との  
ジョイントベンチャーとしてインキュベーションオフィス  
をスタート。





# 近隣の不動産物件も活用して 事業インキュベーションを実施



行政とも連携し、データをもとに地域課題を設定  
その課題への解決のアイデアには  
行政の土地を格安で提供も





# POWER MOVES NOLA

## Mission

**マイノリティに特化した起業支援  
(5年で20のベンチャーを支援)  
(ニューオリンズ内外比率は半々)**





この1週間だけで、ニューオーリンズの人々が  
5,000人参加する。  
(1年目1,500人⇒2年目3,000人)



REGISTER

MARCH 22-28, 2014 | DOWNTOWN NEW ORLEANS

## NEW ORLEANS ENTREPRENEUR WEEK

PRODUCED BY THE IDEA VILLAGE

**New Orleans Entrepreneur Week (NOEW)**, the culmination of **The Idea Village's annual Entrepreneur Season**, has become the premier showcase event for the New Orleans entrepreneurial ecosystem. NOEW 2014 will **engage 5,000+** of the nation's most innovative business leaders, financiers, entrepreneurs, & MBA students (through the [IDEAcorps program](#)) through 56+ events.





50ドルのチップを購入し、  
気に入った起業家に投票する。

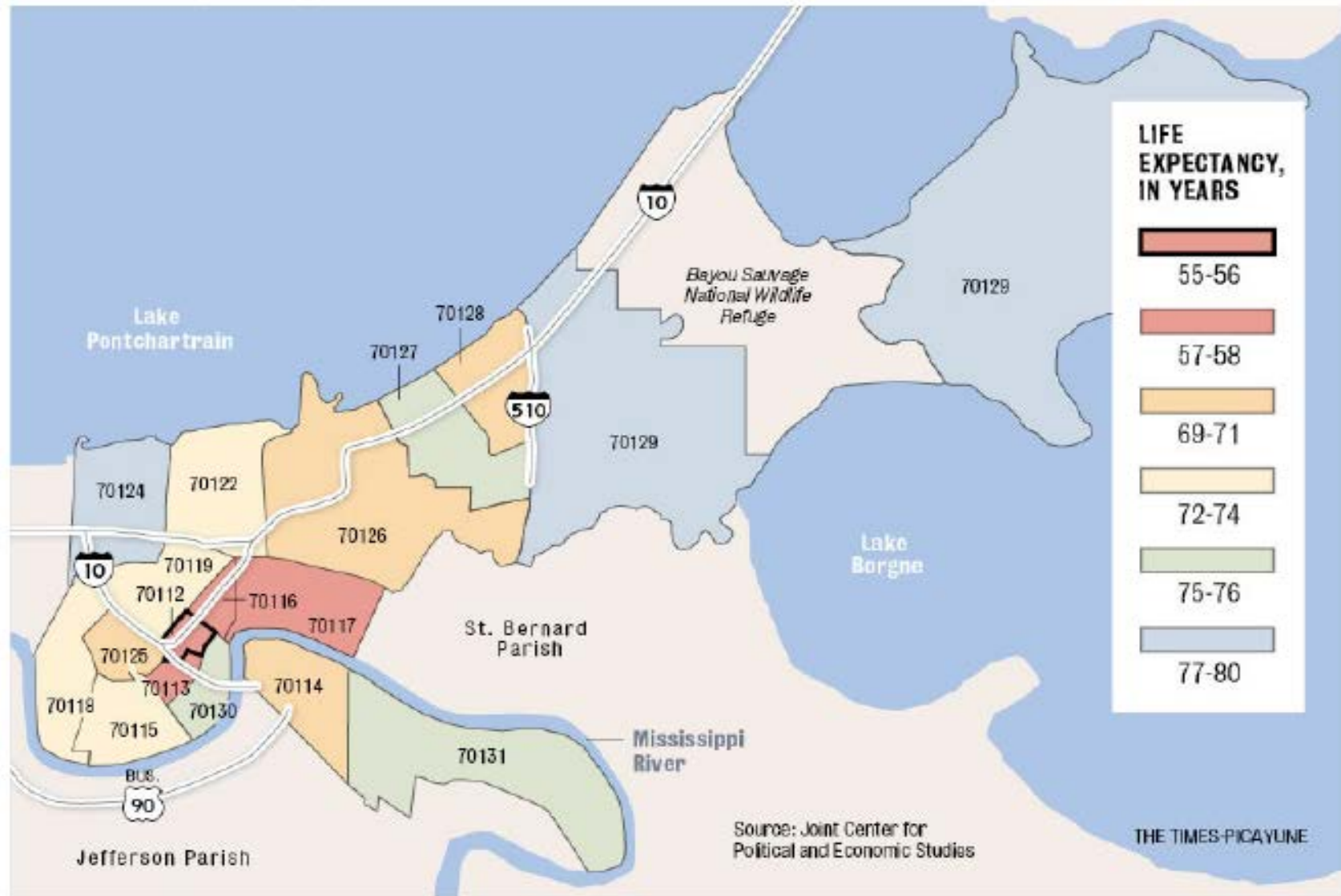




# Broad Community Connections(2009-) ジェフリー・ミラー氏(ニューオリンズ出身)

ニューオリンズの“寿命格差”是正に取り組むため、  
市役所を辞めて起業。

# LIFE EXPECTANCY



**BROAD**





総額20億円を調達し、土地と建物を準備。  
「寿命格差」を縮めるための企業やプロジェクト誘致

# エコシステムを育てていく上での ニューオリンズからの学び

- ① 人の流れをつくる（ブレイン流出から流入へ）
- ② ハブとなる多様な人材や組織の存在
- ③ 民間の力を活かす行政の役割
  - 重点領域の提示、資源管理への条例、規制緩和
  - 行政がマネジメント・コントロールするのではない



# 産業集積のためのエコシステムをどう育てるか

## 人の流れをつくる

- ・新たなプレイヤーを巻き込む
  - (1) 社会起業家、ベンチャー起業家
  - (2) 起業志望人材
  - (3) 大手企業等のプロジェクトマネジメント人材

## ハブを育てる

- ・プロデュース力(単なる調整役でなく)を持ったハブ組織を育てる
  - (1) アスヘノキボウ 小松氏@女川町
  - (2) 小高ワークスベース 和田氏@南相馬市小高区
- ・高専、大学の誘致
- ・ハブ組織のプロジェクトマネージャーへの投資  
日南市油津商店街のマネージャー (月給90万円)  
地元側の応援体制、明確な目標設定

## 制度設定・規制緩和

- ・福祉の立場から：現場とロボット技術者がつながっていない  
個人情報の問題 (特例での法律改正)
- ・行政：規制緩和、制度設計、税制優遇、ふるさと納税

**ご清聴いただき、ありがとうございました。**

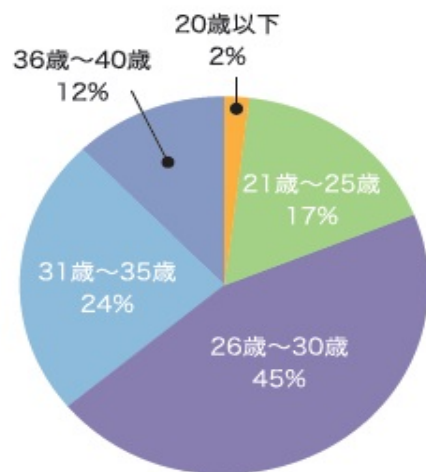
## 参考資料

# 内閣府地域社会雇用創造事業 (2年間で95名の新規創業支援、平均200万円助成)

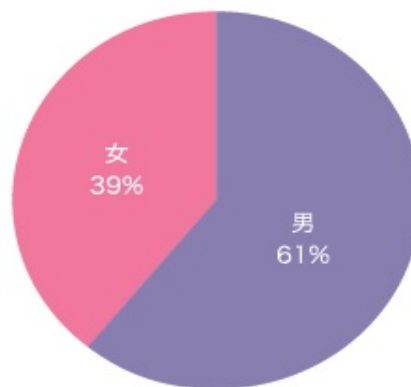
年齢・性別・所在地

## スタートアップメンバー95名のプロフィール

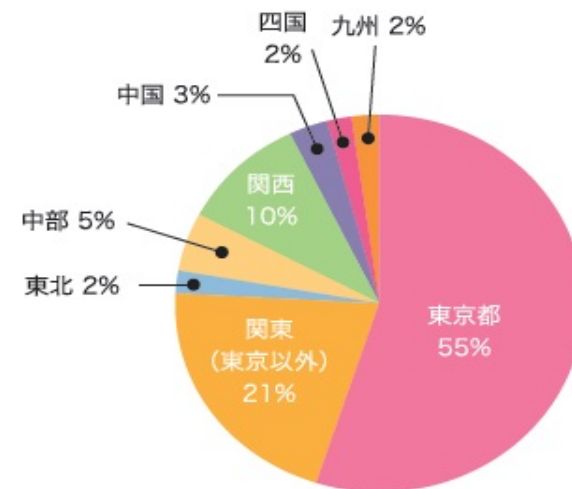
起業開始時の年齢



性別



所在地



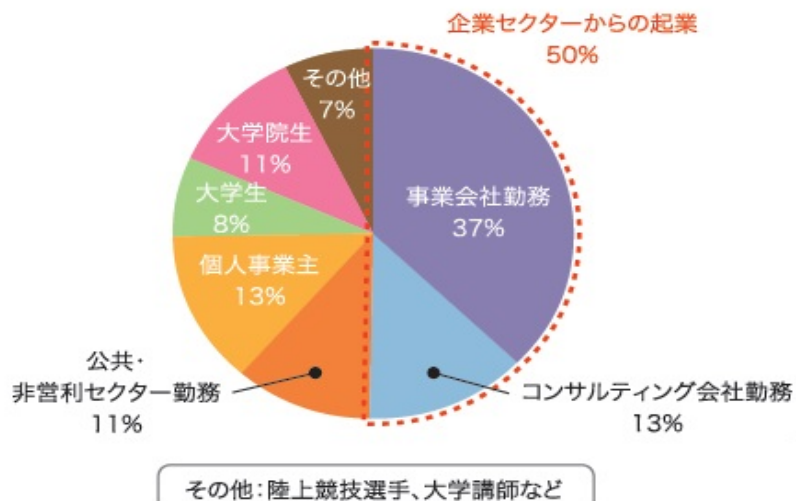
※本プログラムは、応募書類提出時に15歳以上  
39歳以下の個人が応募対象です。



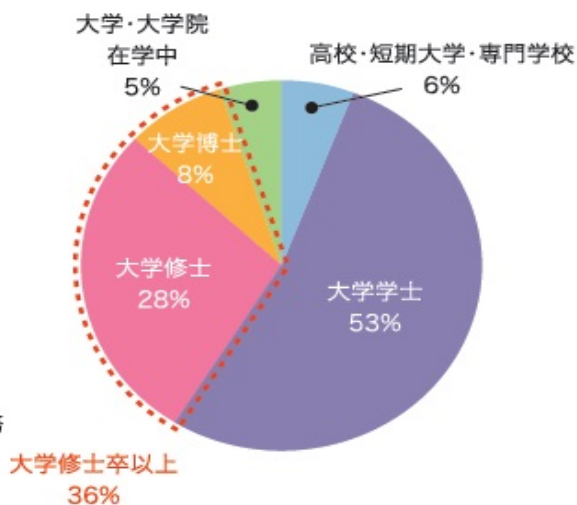
## 起業がひとつのキャリアの選択肢に

- 事業会社やコンサルティング会社など、企業に務めていた人が半数。
- 大学修士卒以上が4割と多い。
- 4割強が既婚者。全体の4分の1が子どもを育てながら起業。

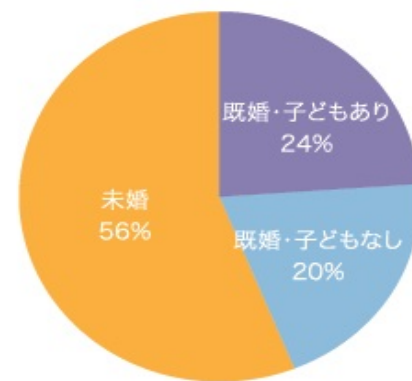
起業直前の経歴



最終学歴

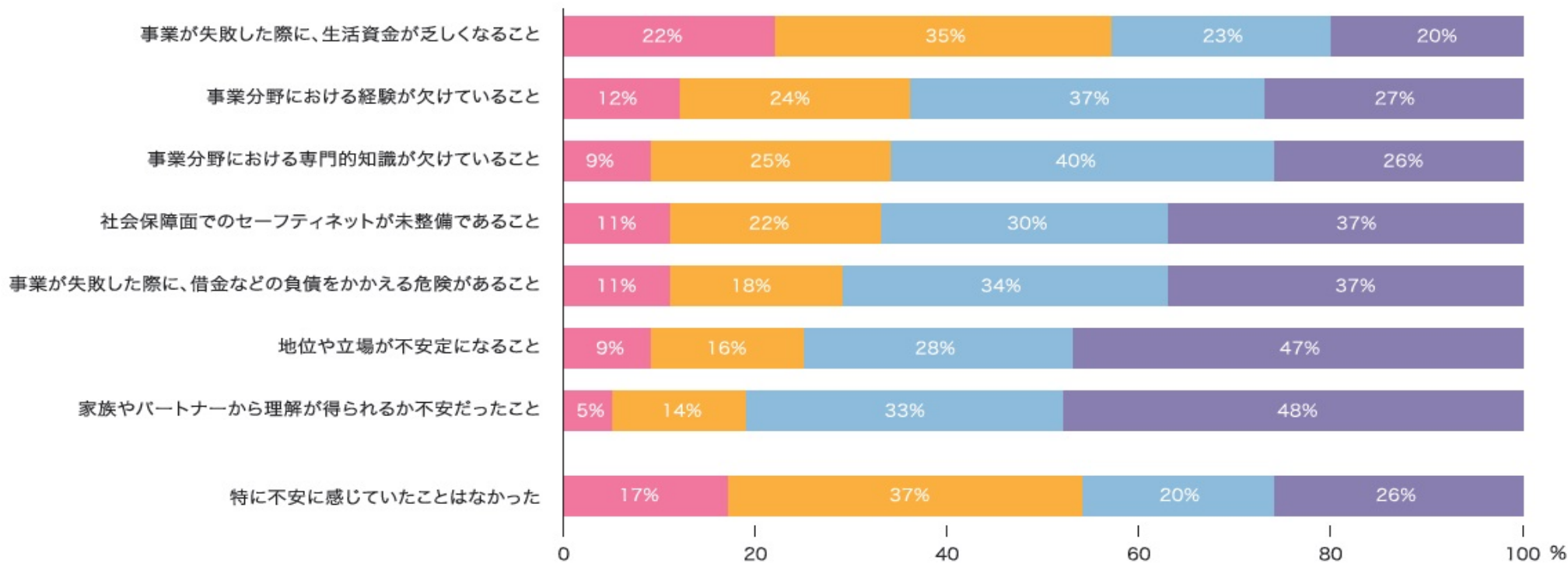


配偶者／扶養家族の有無

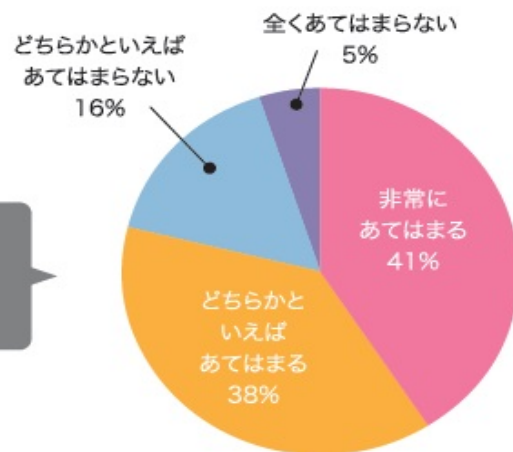


Q. 起業するにあたってリスクや障害として不安に感じていた事は？

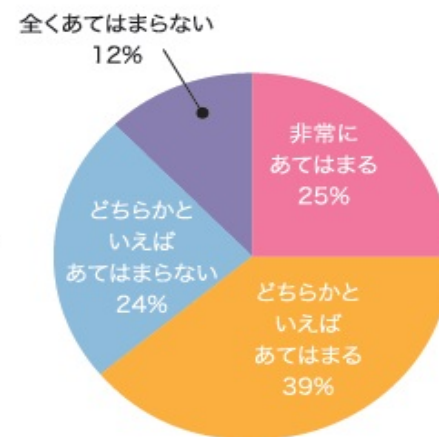
非常にあてはまる    どちらかと言えばあてはまる    どちらかと言えばあてはまらない    全くあてはまらない



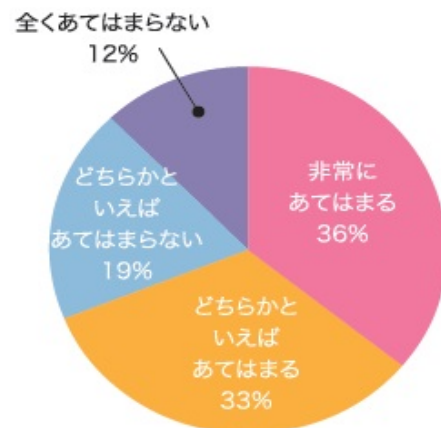
Q. 自分に取り組む以外、  
担い手がいない／  
解決が見込めないと思った



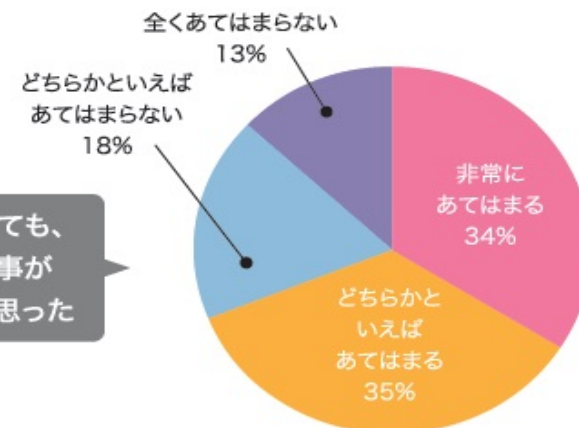
Q. 以前から  
起業・独立したいと思っていた



Q. 起業することで、  
自分の裁量で自由に  
働きたいと思った



Q. 万が一上手く行かなくても、  
事業を立ち上げるという事が  
経験としてプラスになると思った



# 地域側に人材が育つ環境を整える

## 人材の適性に応じたハンズオン支援を実施

